

**製品名: Sgo1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17827**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SGOL1
別名	SGOL1; SGO1; Shugoshin-like 1; hSgo1; Serologically defined breast cancer antigen NY-BR-85
遺伝子 ID	151648.0
SwissProt ID	Q5FBB7
免疫原	抗血清はヒト SGOL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

**背景**

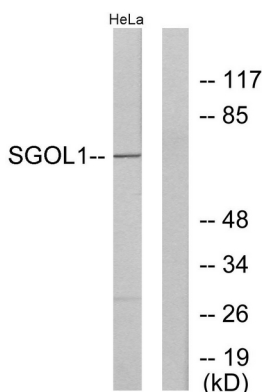
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、シュゴシンファミリーに属する。このタンパク質は、コヒーシンサブユニットのり

ン酸化を阻害することで、有糸分裂前期におけるセントロメアコヒーシンの切断を防ぐと考えられている。この遺伝子の発現低下は、セントロメア接着の早期消失、姉妹染色分体の誤分離、そして有糸分裂停止につながる。このタンパク質は、有糸分裂前期において染色体腕部に沿って存在するコヒーシンの小さなサブセットも保護していることが示唆されている。エクソン 6 を欠損したアイソフォームは、セントロメアの接着に関与することが示されている (PMID: 16582621 および PMID:18331714)。この遺伝子の変異は、慢性心房性・腸管不整脈 (CAID) 症候群と関連しており、生後 40 年以内に洞不全症候群 (SSS) と慢性偽性腸閉塞 (CIPO) が併発することを特徴とする (PMID:25282101)。線維発達段階: 前期細胞に出現し、中期まで持続する。後期開始時に大きく減少し、終期には完全に消失する。間期細胞には存在しません (タンパク質レベル)。,ドメイン:D ボックス (破壊ボックス) は APC タンパク質との相互作用を媒介し、ユビキチン-プロテアソーム経路による分解の認識シグナルとして機能する可能性があります。機能:前期後にコヒーシン複合体のほとんどが染色体腕から解離すると、コヒーシン複合体がセントロメアから早期に解離するのを防ぐことで、有糸分裂中の染色体接着に中心的な役割を果たします。セントロメアにおけるコヒーシン複合体の STAG2 サブユニットのリン酸化を阻害することで作用し、後期に ESPL1/セパラゼによってコヒーシンが切断されるまで、コヒーシンがセントロメアに持続することを保証する。、その他:検査した乳がんの 90% で強く過剰発現している。、PTM:後期の開始時に後期促進複合体 (APC) によってユビキチン化され、その分解を促進する。、類似性:シュゴシンファミリーに属する。細胞内局在:前期から中期までセントロメアに局在し、後期に消失する。BUB1 はセントロメア局在に必要である。前中期には単一の焦点に局在するが、中期には 2 つのセントロメアに対応する 2 つのスポットに局在する。、サブユニット: PPP2CA (または PPP2CB)、PPP2R1B、PPP2R5A、PPP2R5B、PPP2R5C、PPP2R5D、PPP2R5E、SET、LRRC59、RBM10 (または RBM5)、RPL10A、RPL28、RPL7、RPL7A、および RPLP1 と相互作用する。タンパク質ホスファターゼ 2A との相互作用は、おそらく制御性 B56 サブユニット (PPP2R1B、PPP2R5A、PPP2R5B、PPP2R5C、PPP2R5D、PPP2R5E) への直接結合を介して起こる。、組織特異性: 広く発現している。精巣で高発現する。肺、小腸、乳房、肝臓、胎盤で発現します。

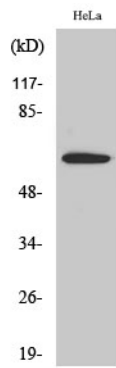
## 研究分野

卵母細胞減数分裂;

## 画像データ



SGOL1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Sgo1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン ブロット分析。